

Anthropic「Opus 4.7」「Claude Design」発表が競合他社に与える影響と市場考察（2026年4月）

Manus

2026年4月中旬に Anthropic が発表した「Claude Opus 4.7」および「Claude Design」は、AI 業界の競争軸を「汎用モデルの性能競争」から「タスク特化型の自律エージェントとワークフロー統合の競争」へと完全にシフトさせました。本レポートでは、この発表が主要な競合他社（OpenAI、Google、Figma、Adobe 等）にどのような影響を与え、各社がどう対応しているかを多角的に考察します。

1. OpenAI への影響と対応戦略

影響：エンタープライズ市場での「プラットフォーム戦争」の激化

Opus 4.7 の登場により、OpenAI の最新モデル「GPT-5.4」（2026年3月リリース）は、エージェント的コーディング（SWE-bench Pro）や金融分析などの重要ベンチマークでわずかにリードを許す形となりました [1]。しかし、それ以上に OpenAI にとって脅威となっているのは、Anthropic が「Claude Design」から「Claude Code」へと至る一気通貫のエンタープライズ・ワークフローを構築し始めた点です。

対応戦略：Codex の大幅アップデートと「マルチプロダクト」戦略

OpenAI は即座に防衛策を講じています。

- **Codex デスクトップアプリの刷新**：Anthropic の発表とほぼ同時期に、OpenAI は開発者向け環境「Codex」のデスクトップアプリを大幅にアップデートしました。このアップデートにより、Codex はバックグラウンドで PC 上のあらゆるアプリを操作（Computer Use）できるようになり、画像生成や Web プレビュー機能も統合されました [2]。これは明らかに Claude Code や Claude Cowork への直接的な対抗措置です。
- **内部メモが示す危機感**：OpenAI の CRO（最高収益責任者）である Denise Dresser 氏は社内メモで、「市場はかつてないほど競争が激しい」と述べ、

Anthropic のコーディング特化戦略を警戒しつつ、「単一プロダクトの企業ではなく、複数の入り口を持つ統合的なエンタープライズ・プラットフォーム企業として考えるべきだ」と従業員に発破をかけています [3]。

2. Google への影響と対応戦略

影響：サイバーセキュリティと UI デザイン領域での直接衝突

Google の「Gemini 3.1 Pro」（2026 年 2 月リリース）は、依然として多言語対応や Google Workspace との深い統合において強みを持っていますが、Anthropic の動向は Google の 2 つのコア領域を脅かしています。

- **サイバーセキュリティ**：Anthropic が一部のパートナーにのみ限定公開した超強力モデル「Mythos Preview」は、Chrome や Android の未知の脆弱性（ゼロデイ）を多数発見したと報じられています [4]。
- **UI デザイン**：Google は 2026 年 3 月に AI 搭載の UI デザインツール「Google Stitch」を発表していましたが [5]、Claude Design の登場により、この領域でも真っ向勝負を強いられることになりました。

対応戦略：自社インフラの防御と「Stitch」の強化

- **セキュリティの「盾」としての AI**：Aragon Research の分析によれば、Google は Mythos のような攻撃的 AI に対抗するため、Gemini のインフラを活用して自社の VRP（脆弱性報奨金プログラム）やコード監査能力を内向きに強化（Harden the fort）せざるを得ない状況にあります [4]。
- **デザインツールの競争**：Google Stitch は「Vibe Design」と呼ばれる直感的な UI 生成を強みとしていますが、Claude Design が Figma や Canva へのエクスポート、さらには Claude Code への直接ハンドオフを備えているのに対し、Google も Workspace や Firebase 等との連携を急ぐ必要があります。

3. Figma および Adobe への影響と対応戦略

影響：デザインツールの「民主化」によるビジネスモデルの危機

Claude Design の発表が最も直接的な打撃を与えたのは、Figma や Adobe といった既存のクリエイティブ・ソフトウェア企業です。発表直後、Figma の未公開株価（推定）は約 7% 下落し、Adobe の株価も連れ安となりました [6]。

これまで Figma や Adobe は「プロのデザイナーが使うツール」であり、AI はあくまでその作業を補助する「Copilot（副操縦士）」という位置づけでした。しかし、Claude Design は「非デザイナー（PM や創業者）が自然言語だけでプロトタイプを完成させる」ことを可能にし、既存ツールのユーザーベースそのものを脅かしています。

対応戦略：AI エージェントの統合とエコシステムの防衛

- **Figma の対応**：Figma は 2026 年 2 月に「Code to Canvas」という機能を発表し、AI が生成したコードを Figma 上の編集可能なデザインに変換するブリッジを構築していました [7]。しかし、Anthropic の CPO が Figma の取締役を辞任したことから分かるように、両社は協力関係から競合関係へと移行しつつあります。Figma は今後、デザインの「ピクセルパーフェクトな制御」や「複雑なデザインシステムの管理」というプロ向け機能の優位性を強調していくと予想されます。
- **Adobe の対応**：Adobe は Claude Design 発表の数日前に「Firefly AI Assistant」を発表しています [8]。これは Photoshop や Premiere Pro などの Creative Cloud アプリを横断して自律的にタスクを実行するエージェント機能であり、Adobe もまた「チャットから最終成果物まで」のプロセスを自社エコシステム内で完結させようと必死に防衛線を張っています。

4. 総括：2026 年後半に向けた市場の展望

Anthropic の今回の発表は、AI 業界における競争のフェーズが完全に変わったことを示しています。

- 1 「賢さ」から「自律性と統合」へ：モデルの純粋なベンチマークスコア（IQ）の競争は頭打ちになりつつあり、今後は「いかに人間の介入なしにタスクを完結できるか（エージェント能力）」と、「企画から実装までのワークフローをいかにシームレスに繋ぐか」が勝負の分かれ目となります。
- 2 **特化型モデルの台頭**：サイバーセキュリティに特化した「Mythos」や、コーディングに特化した「Claude Code」のように、特定のドメインで圧倒的な成果を出す特化型モデル・ツールが、汎用モデル（ChatGPTなど）のシェアを侵食し始めています。
- 3 **SaaS ベンダーの試練**：Figma や Adobe に限らず、既存の SaaS 企業は「自社製品に AI を組み込む」だけでは不十分であり、「AI エージェントが直接ソフトウェアを操作する（Computer Use）」時代において、自社の UI やビジネスモデルの根本的な再構築を迫られています。

2026 年後半は、OpenAI の次期モデル（GPT-6 や新たな推論モデル）の動向や、Google の Gemini エコシステムの反撃により、エンタープライズ市場を巡る「プラットフォーム戦争」がさらに激化することは間違いありません。

References

- [1] VentureBeat. "Anthropic releases Claude Opus 4.7, narrowly retaking lead for most powerful generally available LLM". <https://venturebeat.com/technology/anthropic-releases-claude-opus-4-7-narrowly-retaking-lead-for-most-powerful-generally-available-llm> [2] VentureBeat. "OpenAI drastically updates Codex desktop app to use all other apps on your computer, generate images, preview webpages". <https://venturebeat.com/technology/openai-dramatically-updates-codex-desktop-app-to-use-all-other-apps-on-your-computer-generate-images-preview-webpages> [3] The Verge. "Read OpenAI's latest internal memo about beating the competition — including Anthropic". <https://www.theverge.com/ai-artificial-intelligence/911118/openai-memo-cro-ai-competition-anthropic> [4] Aragon Research. "Mythos: Google and OpenAI Must Respond". <https://aragonresearch.com/mythos-google-and-openai-must-respond/> [5] InfoWorld. "Google's Stitch UI design tool is now AI-powered". <https://www.infoworld.com/article/4148216/googles-stitch-ui-design-tool-is-now-ai-powered.html> [6] The Economic Times. "Why Figma stock (FIG) dropped over 7% today after Anthropic's Claude Design launch". <https://m.economictimes.com/news/international/us/why-figma-stock-fig-dropped-over-7-today-after-anthropics-claude-design-launch-heres-what-investors-are-worried-about/articleshow/130341662.cms> [7] VentureBeat. "Anthropic just launched Claude Design, an AI tool that turns prompts into prototypes and challenges Figma". <https://venturebeat.com/technology/anthropic-just-launched-claude-design-an-ai-tool-that>

[turns-prompts-into-prototypes-and-challenges-figma](#) [8] TechCrunch. "Adobe's new Firefly AI assistant can use Creative Cloud apps to complete tasks".
<https://techcrunch.com/2026/04/15/adobes-new-firefly-ai-assistant-can-use-creative-cloud-apps-to-complete-tasks/>